



眉山のふもとで
毎日のくらしと
名もないドラマが
歴史を作る

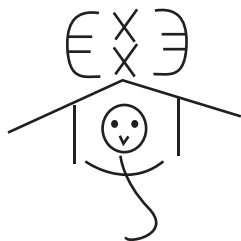
私たちはこれからの未来に
どんなドラマを残すのだろう

私たちは今、

歴史から続いた一筋の道の上

あしたという未来のふもと

ふもと研究会



学



完成

研究員のふもと巡り①

ふもと研究会の大きなテーマである「学び」の「学」という漢字のふもとを調べてみました。

作りとしては「ツ」「ワ」「子」からできており、漢字の種類としては会意文字になります。会意文字とは、二つ以上の象形文字や指事文字(文)を組み合わせて、さらに複雑な別の新しい意味を表したものです。もとの字は「學」で白(キュウ)爻(カク)の部分をもっと簡略化し現在は「ツ」と書きます。白(キュウ)は左右の手を表し、教導く意味があり爻(カク)は交差していることから伝統や知識など伝授の様子を表しているそうです。なるほど。「学」という漢字の成り立ちを知った上でふもとの「ふ」というひらがなと私たちがふもとを学ぶ象徴としている「眉山」を組み合わせてふもと研究会のマークを作ってみました。全体的に「学」という漢字をモチーフにしてグリーン部分は眉山を表しています。いかがでしょう？ みなさまの感想おまちしております！



研究員のふもと巡り②

前号で書きかけていましたが・・・行ってまいりました。モラエス饅頭のお店へ。場所は徳島市新内町2丁目。水際公園沿いの道を少し北に入ったところにあります。ここには時代を感じさせてくれる建物はもうほとんど存在していませんが、そのひとつがこのお店。金福堂支店との看板があって、その下の暖簾に「モラエス饅頭本舗」と印字されています。残念ながら、モラエスを実際に知っている(!)というお店の名物大将にお会いすることはできず、モラエス饅頭をいただくことができませんでしたが、ご家族の方がとても親切に対応して下さいました。徳島の町。そこに暮らす人々の中に息づいていた文化や伝統のある暮らし。それを伝え聞く楽しさと大切さを改めて感じるひと時でした。実際に大将にお会いして、お店の歴史、モラエス饅頭の誕生についてなど、お話をうかがう日が楽しみです。しばらく、お店通いが続きそうです(笑)



記事・情報募集! みなさんからの、眉山に関する記事や情報をお待ちしております! 眉山にまつわる昔話、お勧めの登山道、季節折々の自然など、みなさんが日ごろ感じていることなども添えてお寄せ下さい。Webやふもと通信などご紹介させていただきます。また、「ふもとなかま」も合わせて募集しています。情報収集や、イベントなどに一緒に参加して下さる方「ふもとなかま」に入りませんか?



おおい眉山よ！

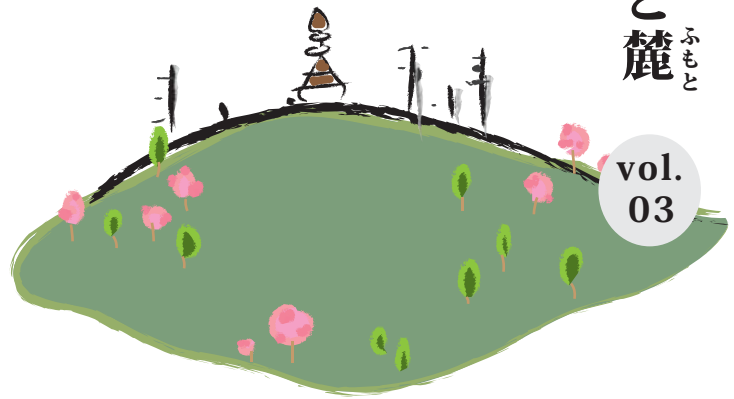


情報の巣箱より

わたしと麓 ふもと

vol. 03

私が社会人学生として徳島大学常三島キャンパスへ通うようになって、早くも1年である。眉山の南端にある家から大学に向かう時、眉山は季節毎にいろんな景色を見せてくれる。この時期の眉山は少しずつ華やいでくるようで好きである。冬場の全面一色で枯れた灰色の感じから、この時期には所々に、灰色の中に緑が混じった鶯色の感じは茶の湯の侘び・寂びの世界であろうかと感じる。そんな山肌の奥深くに、前回述べたツバキの真っ赤な花が咲き誇っていたのであるかと思うと感に入ってしまう。こんな感傷的なことを言ってしまったが、眉山も、私たちの生活にもおおいに役立っていることを先日山の登りで気づいた。



実際、眉山は頂上にさまざまな塔や建物を背負って頑張っている。テレビや携帯電話の塔もあれば、記念の塔もある。昔から、そうであつたのか、あまり記憶にない。人と自然の共存の証しなのかもしれないが、少し痛々しい気がする。

平良全栄 (たいら ぜんえい)

学生支援室だより No3

この一年間、カメラを抱えて地域社会人の方々が参加してくださっているいくつかの授業にお邪魔させて頂きました。いずれも個性的で興味深く、各教員の工夫を凝らされた講義に引き込まれ、時間を忘れてしまうこと、度々。学生のみなさんが緊張しながらも懸命に自分の言葉で語る様子、社会人の方々が熱心に、そして楽しそうに学ぶ姿…それぞれ印象的でした。また、課外での学習会にも同じように取材しつつ参加し、学び合いの様子をカメラに収め続けてきました。そうして集めた写真を並べてみると、改めて学びのかたちはひとつではなく、いろいろある…そのことに気づかされます。

これまで大学での学びが、教員から学生へ教えるという一方向型のものが多いという現状がありました。その関係に社会人が加わって、三者によって創り出す学び合いに変えていきたいとの思いから始まったこの取り組み。**与え、与えられ、人から学ぶ** 学ぶことの原点はそこにあるような気がしています。

学びとは、学ぶことの楽しさとは、共に考えながら、この春新しい学びの一步を踏み出してはみませんか？

(文責：境 裕美)



学生支援室 Tel:088-656-7205

HP :<http://w3.ias.tokushima-u.ac.jp/sgp>